

門扉、囲い罠・ICT関係

門扉



フィールドフェンスの出入り口に
門扉
STEAL GATE



FAR夢では、様々な野生動物対策に合わせたゲート（門扉）を開発しています。高さ、幅、網目など現地の被害状況、出入り口周辺の環境を確認しながら、最適なシステムをご提案いたしますので、ご相談ください。

※門扉は受注生産のため、納期にお時間を頂きます。
※大型商品のため、別途送料が掛かります。

囲い罠・ICT関係



「守るフェンス」から「獲るフェンス」へ
囲い罠
CORRAL TRAP



囲い罠とは、野生動物をフェンスなどで囲われた場所に誘導し、一度に大量捕獲するための罠のことです。FAR夢のフィールドフェンスは、張り方を工夫することで、囲い罠として使用することも可能です。また、ICTなどの先進技術を取り入れ、より効率の良い捕獲や防除を行う技術を研究・開発しています。

フィールドフェンスカタログ
(野生動物対策、門扉、囲い罠ほか)



EASY-VENDER FENCE

問い合わせ先

 **ファームエイジ株式会社**

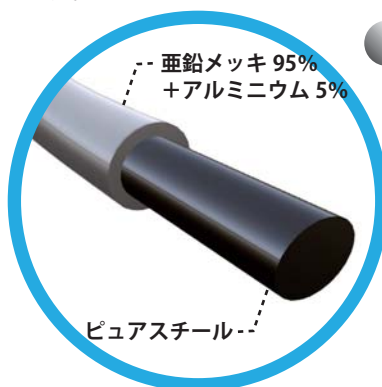
ファームエイジ ホームページ
<http://www.farmage.co.jp>



フリーダイヤル エイジで 良い柵を
0120-82-4390
※携帯・PHSからもご利用になれます



緊張ができる特殊なネットフェンスです。緊張することで、柵の強度が増すだけでなく、ポスト（支柱）の間隔を広げることが出来ました。ライトタイプは軽量で、一人でも簡単に運ぶことが出来ます。専用施工道具を使用することで安価で誰にでもこのネットフェンスを張ることが出来ます。電気柵を併用することで野生動物防除にも、より効果的に対応できます。



ポイント1

強度にムラの出ないピュアスチールを使用
高耐食特殊メッキ（亜鉛+アルミ）で亜鉛メッキの2倍長持ち

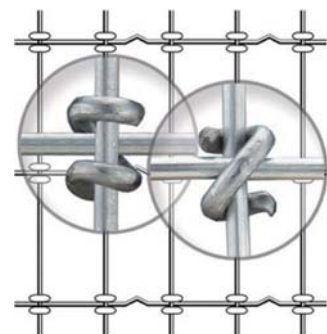
FAR 夢ブランドのネットフェンスは高耐久、高品質のザプラスワイヤーを使用しています。再生鉄を使用していないピュアスチールのため、強度にムラがなく高品質です。また、通常の亜鉛メッキの2倍の耐食を持つ高耐食特殊メッキ（亜鉛 95%+アルミニウム 5%）を施すことにより、更に高耐久になりました。

*Zinc 95% + Aluminum 5%
= Our fence*

ポイント2

強度と安全性を考慮したXGRIP（エックスグリッ プ）仕様

結束部は特殊な結束方法を使い、鋭い突起が出ない大変なめらかな仕上がりになりました。動物の体を傷付けないように配慮した国内初の技術です。また、線間隔を最小 50 mmまで狭めることが出来、小動物の侵入防止柵として効果が期待できます。



野生動物対策



シカ対策（フィールドフェンス H2000）



シカ・クマ対策（イージーベンダーフェンス H2300+電気柵）



イノシシ対策①（イージーベンダーフェンス H1500）



イノシシ対策②（ワイヤーメッシュ+しのび返し支柱システム）



サル対策①（フィールドフェンス H1500+しのび返し支柱システム）

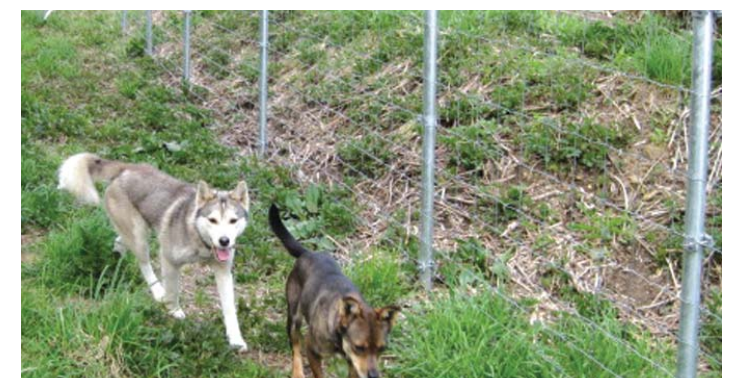


サル対策②（菱形金網+しのび返し支柱システム）

畜産動物・その他



ヤギ用フェンス（フィールドフェンス H1500）



ドッグランフェンス（フィールドフェンス H1500）



FAR夢 オリジナル

簡単に折り曲げれる。
掘り返し防止フェンス。

イージーベンダーフェンス

EASY-VENDER FENCE

対象動物 イノシシ、シカなど

※イラストはイメージです



ポイント1

地面との隙間ゼロへ。
フェンス下部 30 cmが簡単に折れ曲がる特殊構造。

起伏が多い場所ではどうしても地面との隙間を無くすることが出来ず、動物に付け入る隙を与えていました。最近ではイノシシがそうした場所を掘り返し、フェンスを壊してしまうということも起きています。

FAR夢ブランドのイージーベンダーフェンスは、特殊技術加工によりフェンスの下部の折り曲げが初めてでも簡単に行えるようになりました。簡単に折り曲げることができるので、施工が楽になるだけでなく、自力施工をされる方にもオススメです。

ポイント2

折り曲げ角度も自由自在。
ペグで固定することで、更にながちりガード！

折り曲げ角度が自由にできるので、イノシシの掘り返し対策に有効です。また、折り曲げた箇所はペグを使って固定することで更にながちりガードすることが出来ます。



特許 システム
(特許第4969613号)

取り付け 10 秒。
電気柵で既存フェンスを
新たな次元へ。

しのび返し支柱システム

POWER UP FENCE SYSTEM

対象動物 イノシシ、シカ、サル、小動物など

※イラストはイメージです



ポイント1

接続フェンス、対象動物を選ばない。
全国で導入されている特許システム。

FAR夢ブランドのしのび返し支柱システム（特許システム）は既存の柵に電気柵を追加することで、柵の防除効果をさらに高めることが出来ます。支柱の角度や高さ、段数を自由に調整できるだけでなく、接続するフェンスを選ばない高い汎用性を持っています。こうした点が、各地の獣害対策事業で取り入れられ、高い効果を発揮しています。

ポイント2

工具不要。1箇所あたり 10 秒で取付。
しかも、しなりがあり折れにくい。

設置に工具は一切不要です。誰にでも簡単に取付けることが出来ます。しなりがあり折れにくいグラスファイバー製のポールと、劣化しにくい垂鉛メッキのクリップを使用しているので、長くお使いいただけます。



特許 システム
(特許第4969613号)





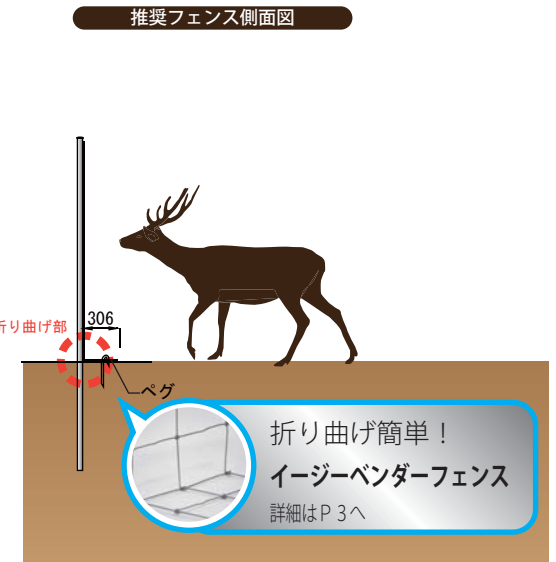
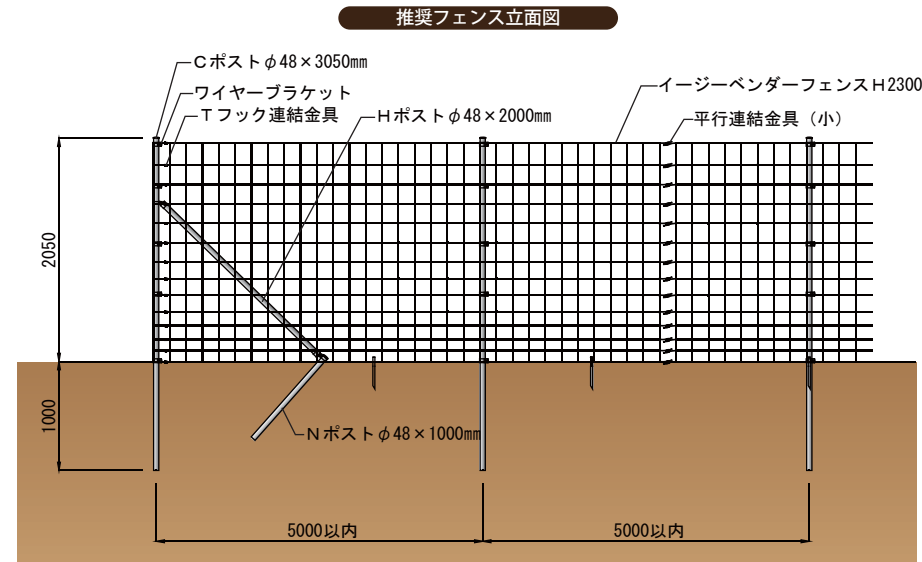
シカ



跳躍力の高いシカの侵入を防ぐには、フィールドフェンスの高さを2m以上に設定するのが基本です。また、低いフェンスの上部に「**しのび返し支柱システム**」を用いて電気柵をプラスすることで、低かったフェンスでもシカに対応することが出来ます。

対応フェンス	高さ	長さ	重量	線径	縦線間隔	段数
フィールドフェンス (Xグリップ仕様)	2400 mm	100m	182kg	2.5 mm	150 mm	20 段
	2000 mm	100m	133kg	2.5 mm	150 mm	14 段
	2000 mm	30m	40kg	2.5 mm	150 mm	14 段
	2000 mmライト	30m	17kg	2.0 mm	300 mm	14 段
イーザーベンダーフェンス	2300mm	30m	43kg	2.5 mm	150 mm	17 段

※ライト仕様は、線径φ2.0mmとなり、通常品よりも軽い仕様になります。

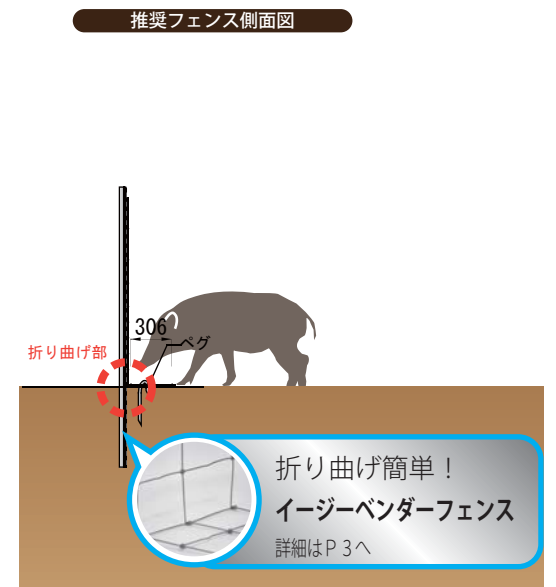
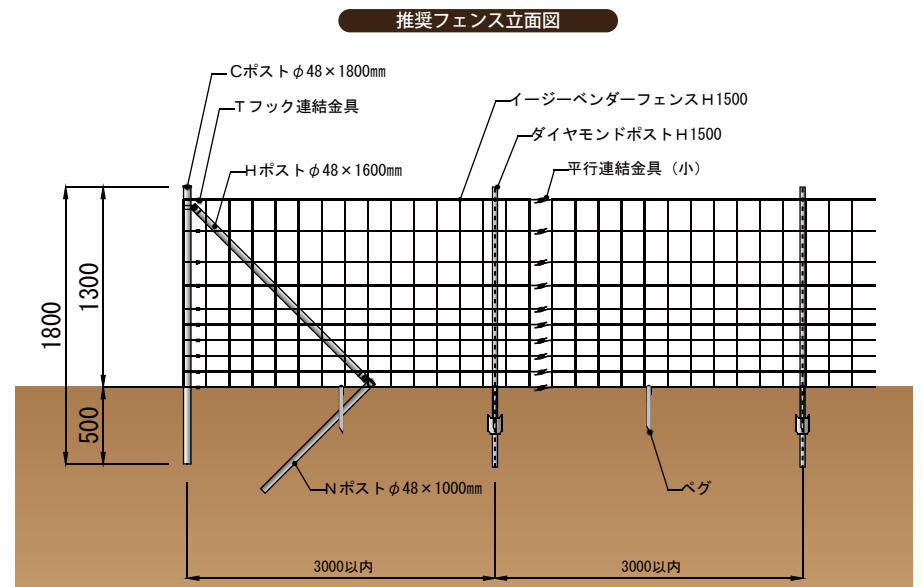


イノシシ



全国各地で被害が見られるイノシシは、鼻先で器用にモノを探っていく習性を持っています。最近ではその鼻でフェンスを持ち上げたり、掘り起こしたりして侵入するというケースが多くなっています。掘り起こし対策をする場合は、フェンスの下部が自由に折れ曲がる「**イーザーベンダーフェンス**」が有効です。折れ曲がった部分はペグなどを使って止めることで、さらに強力なフェンスに仕上がります。

対応フェンス	高さ	長さ	重量	線径	縦線間隔	段数
イーザーベンダーフェンス	2300 mm	30m	43kg	2.5 mm	150 mm	17 段
	1500 mm	50m	50kg	2.5 mm	150 mm	13 段



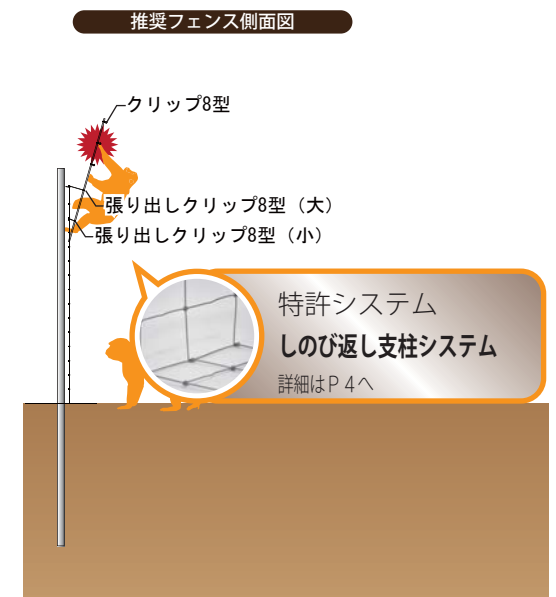
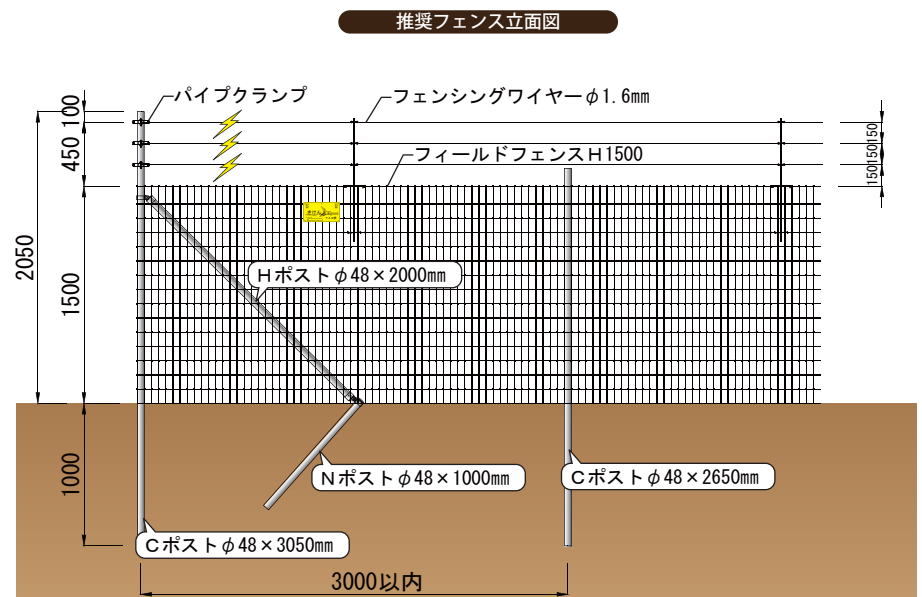
サル



知能や身体能力が高いサルの侵入を防ぐには、フィールドフェンスと「**しのび返し支柱システム**」を併用することで、防除することが出来ます。「**しのび返し支柱システム**」は斜めにせり出すように設置することで、より心理的效果を高めます。場合によっては、段数を増やしたり、プラス線とマイナス線を同時にさわるように設定することで、さらに効果を高めることが出来ます。但し、近くに電柱や木があればそこから簡単に侵入を許してしまいます。設置場所は周辺環境に十分配慮し、場合によっては、伐採などが必要になることもあります。

対応フェンス	高さ	長さ	重量	線径	縦線間隔	段数
フィールドフェンス (Xグリップ仕様)	1500 mm	30m	68kg	2.5 mm	50 mm	16 段
	1500 mmライト	30m	43kg	2.0 mm	50 mm	16 段

※ライト仕様は、線径φ2.0mmとなり、通常品よりも軽い仕様になります。

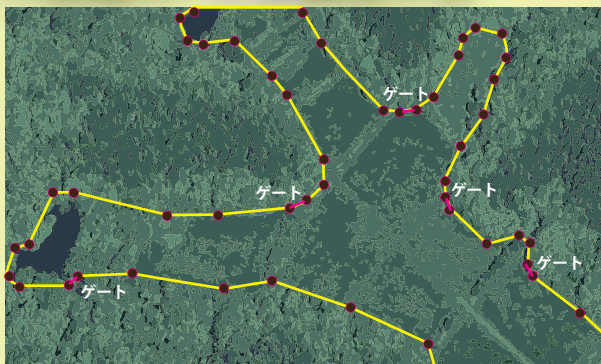


お問い合わせください

上記内容やイラストはあくまで標準的な仕様（イメージ）です。実際の設置環境や被害状況により、最適な対策や方法をご提案致しますので、どうぞお気軽にお電話ください。

設置環境に合ったフィールドフェンスを設置するためには、設計前の計画が大切です。ここでは設置に至るまで、どのような工程を経るかを簡単に説明いたします。

①設置ルートを確認する



・弊社デモファーム（実験農場）での設置・測量イメージ
●は折れ点 ゲートは出入り口部

確認ポイント

- 距離
- 支柱箇所
- 支柱間隔
- 対象動物

※対象動物別の仕様についてはP5.6をご確認ください。

設置ルートの状況を確認し、ルートを選定します。

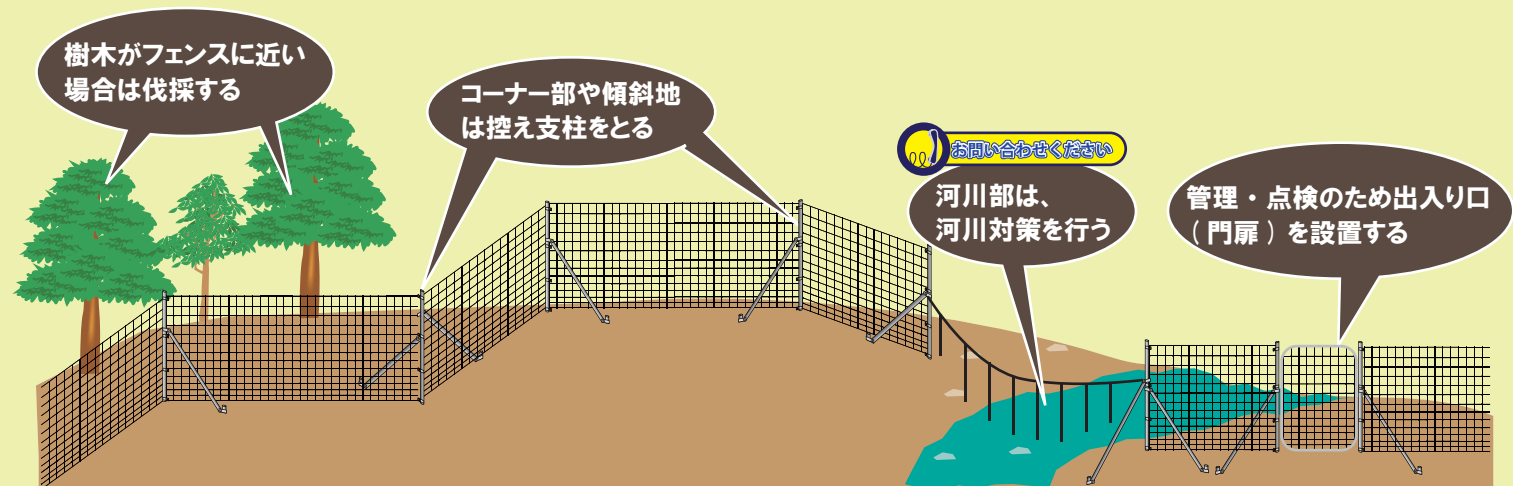
砂利やコンクリートなど地盤が固い土地は、支柱を打ち込むことが困難です。電柱や立ち木などが近くにある場合や起伏が激しい土地は伐採や整地などの整備を行う必要があります。

00 お問い合わせください

設置ルートについては、専門知識を持ったスタッフがアドバイスを行うサービスも行っております。詳しくはお問い合わせ下さい。



・ルート確認ポイント イメージ



00 お問い合わせください

管理・点検のため出入り口（門扉）を設置する

②必要資材を選定する



・カーブ部が多い場所での設置事例

00 お問い合わせください

資材選定については、御見積をとらせていただくことも可能です。お気軽にお問い合わせください。



確認ポイント

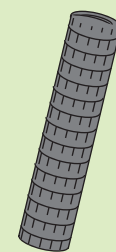
- フィールドフェンス
- 支柱（鉄柱または木柱）
- フェンス固定金具
- フェンス連結金具
- 施工道具
- 出入り口（門扉）※門扉に関しては裏表紙をご確認ください

柵の仕様を決定し、資材数量を算出します。

仕様は対象動物、設置環境に合わせて大きく異なります。それらを確認した上で、資材数量を算出していきます。（対象動物の詳細な仕様はP9、10をご参照ください）。例えば、カーブしている場所や傾斜がある場所は、できるだけ多くコーナー支柱（控え支柱）を入れるほうが望ましいです。

・選定資材紹介

● フィールドフェンス



対象動物に応じて選択します（詳細はP5、6）をご参照ください。

● 支柱（鉄柱）

※木柱、木柱用U字釘（ステイプル）などの資材も取扱っています。詳しくは別途お問い合わせください。

Cポスト、Hポスト、Nポスト
（始点部やカーブ部に使用する支柱です）

ダイヤモンドポスト
（中間支柱として使用します）



ポストブラケット
（C、H、Nポストを接続する際に使用します）

● フェンス固定金具



ワイヤーブラケット
（Cポストとフェンスを固定します）



バッグタイ
（バッグタイスティックを使ってフェンスを固定します）

● フェンス連結金具



平行連結金具（小）
又は（極小）
（フェンス同士を連結しストレーナーを使って緊張します）



ワイヤーロック
（オープンタイプ）
（始点部にフェンスを固定します）



ワイヤーロックの取付け



Tフック連結金具
（始点部にフェンスを固定します）

③施工方法を確認する



確認ポイント

- 自力施工
- 業者施工

施工方法は大きく分けて、自力施工と業者施工の2種類があります。FAR夢ブランドの専用施工道具を使うことで支柱の打ち込みからフェンスの固定まで、全て自力で行うことができます（詳細はP9、10をご参照下さい）。施工方法を検討する際に、重機の使用有無、運搬車の使用についても確認が必要です。

00 お問い合わせください

必要に応じて、現地での施工指導なども承ることが出来ます。詳しくはお問い合わせ下さい。



● 専用施工道具



ランマー（鉄柱用）
（支柱を打ち込みます）



平行連結ストレーナー
（平行連結金具を緊張します）



クランプツール
（ワイヤーロックをかみつづけて、フェンス同士を固定します）



バッグタイスティック
（バッグタイを簡単に支柱に取り付けることができます）

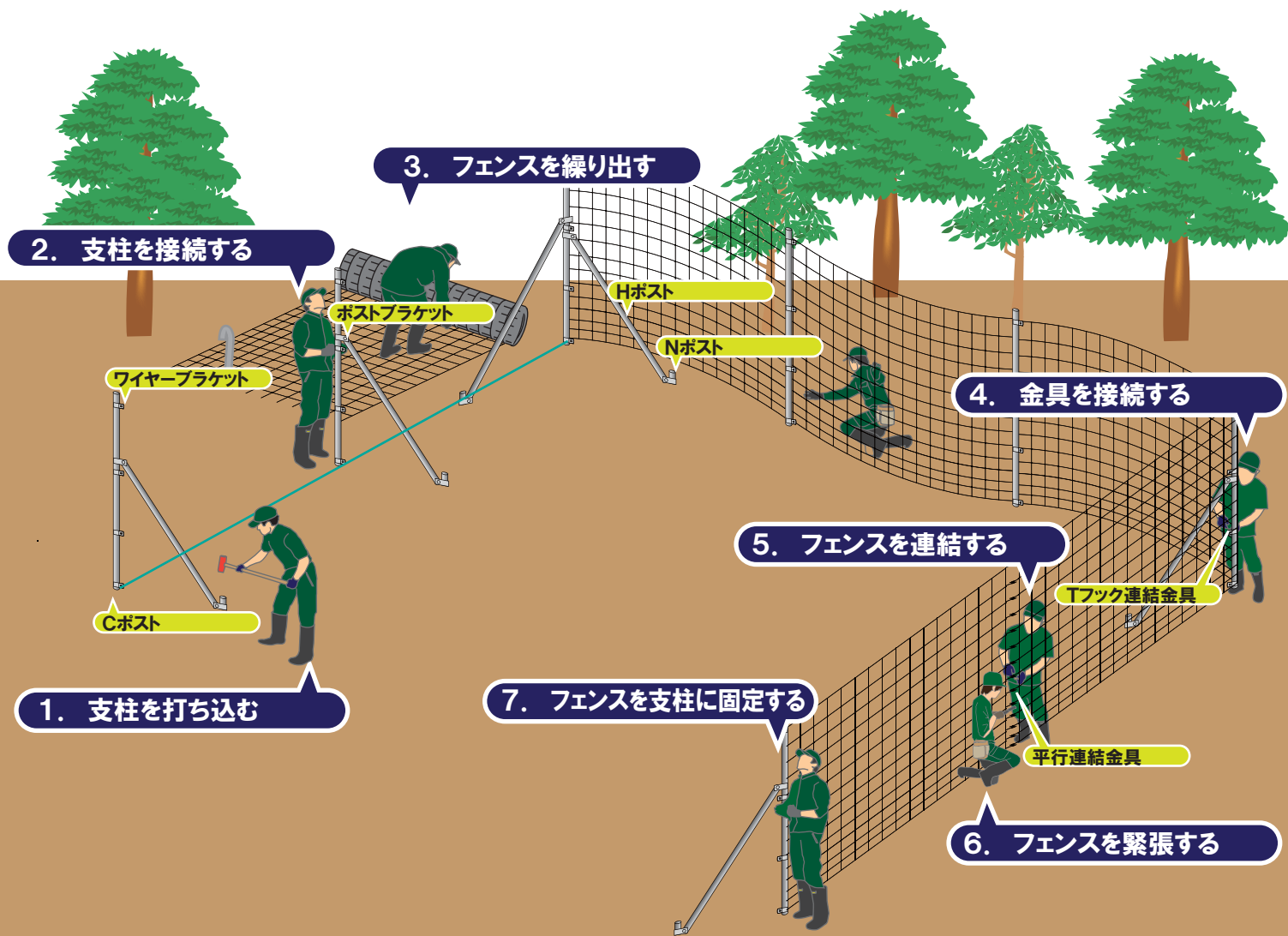


ムービー
ガイド

をご覧ください。
読み取りにくい場合は
http://www.youtube.com/watch?v=Aqig_jHz1hl&list=UU6TBOJfGaMgNvQrOHTJMezA

FAR 夢ブランドのフィールドフェンスは自力施工が可能です。ここでは自力施工を行うにあたって、大まかな設置手順をご説明いたします。

※使用する資材や設置状況によって、施工手順は異なる場合があります。



1. 支柱を打ち込む

まず水系を使って、支柱を打ち込む位置を決めます。打ち込む支柱には地中に打ち込む深さにしるしを付けておきます。ランマー（施工道具）やハンマーを使って、支柱をそれぞれ打ち込んでいきます。打ち込みが完了した後、C ポストにはワイヤーブラケットをフェンスの横線の位置に仮止めしておきます。



ランマーを使った打ち込み

2. 支柱を接続する

ポストブラケットを使って、C ポスト、H ポスト、N ポストをそれぞれ接続していきます。ポストブラケットを固定する際、径 13 ミリのラチェットを用います。



ラチェットを使って取付



ポストブラケットの取付

3. フェンスを繰り出す

フェンスを転がしながら繰り出していき、起こしていきます。この時、繰り出したフェンスが戻ってこないように杭などで固定しておく必要があります。

4. 金具を接続する

フェンス始点部と終点部では連結金具を用いて、C ポストにフェンス巻きつけて固定していきます。

Tフック連結金具は設置が簡単なだけでなく、解除ピンを使うことで一度入ったワイヤーを戻すことができます。



Tフック連結金具の取付け

5. フェンスを連結する

設置距離が長くなると 1 本のフェンスでは張りきれません。そのような場合、平行連結金具を用いてフェンス同士を連結することで、延長することが出来ます。Tフック連結金具と同様に、解除ピンを使うことで一度入ったワイヤーを戻すことが出来ます。



平行連結金具の取付け

6. フェンスを緊張する

平行連結ストレーナーを用いてフェンス全体に緊張をかけていきます（右イメージ）。金具を下段から順番に少しずつ緊張をかけていくのがポイントです。

※重機が使用できる場合、緊張ボードという道具を使って、緊張をかけることが出来ます。詳しくはお問い合わせください。



平行連結金具の緊張

7. フェンスを支柱に固定する

最後にワイヤーブラケットを使って、フェンスと支柱を固定して完成です。ダイヤモンドポストとの固定は、バグタイを用いると便利です。



ポストブラケットの取付



バグタイの取付



設置後の注意点

フィールドフェンスは強度や耐久性が高いことに加え、電気柵などの柵と比べ、頻繁な管理をしなくても良いことも大きなメリットといえます。しかし、全く管理をしなくても良いというわけではありません。ここでは、長くフィールドフェンスをお使いいただくためのポイントについて簡単にご説明いたします。



動物が衝突し破損した箇所



草が巻きついたフェンス

①定期的に見回りを行う

フェンスの歪みや破損を放置しておくと動物がその部分を狙って、侵入するようになり、さらなる破損の可能性があります。破損した箇所はできるだけ早く補修できる体制を作るために、定期的に見回りを行うよう習慣づけましょう。

②草刈りを行う

草刈などは不要と思われるがちなフェンスですが、ツル性植物などが繁茂しつづけるとその重みで歪みが生じたり、人間側の視界も悪くなり、動物の警戒心を薄れさせてしまう原因になります。「しのび返し支柱システム」の場合は、電気柵の漏電に繋がってしまいますので、必ず定期的な草刈りを行ってください。